



ねん ど

2008・2009年度

はままつし がいこくじんしみん きょうせいしんぎかいていげん
浜松市外国人市民共生審議会提言



にほんご ばん
(やさしい日本語版)

ねん がつ にち
2009年12月16日

はままつしがいこくじん し みるきょうせいしんぎ か い
浜松市外国人市民共生審議会

はじめに

はままつし がいこくじん やく まんにん はままつし がいこくじん くに き
浜松市には外国人が約3万人います。浜松市の外国人は80の国から来ていま
いろいろ くに ひと はままつし す にほんじん がいこくじん あいて
す。色々な国の人がたくさん浜松市に住んでいますから、日本人も外国人も相手
ぶんか かんが かた し く たぶん かきょうせい たいせつ
の文化や考え方をよく知って暮らすこと（多文化共生）が大切です。

がいこくじん せいかつ とき もんだい にほんじん がいこくじん いっしょ なかよ く
外国人が生活する時の問題や日本人と外国人がどうしたら一緒に仲良く暮ら
はな あ ねん はままつし はままつしがいこくじんしみんきょうせいしんぎかい つく
せるかを話し合うために、2008年、浜松市は浜松市外国人市民共生審議会を作り
ました。

わたし だいいっかいはままつしがいこくじんしみんきょうせいしんぎかい はな
私たち第一回浜松市外国人市民共生審議会のメンバーは、5つのテーマで話
あ いけん がいこくじん じょうほう し
し合って、意見をまとめました。テーマは、「外国人に情報を知らせる」、
はままつしたぶんかきょうせい よ にほんご べんきょう
「浜松市多文化共生センターをもっと良くする」、「日本語を勉強するシステム
をつくる」、「がいこくじん じぶん ちから きんじょ ひと なかよ く じしん たいふう
外国人が自分の力で近所の人と仲良く暮らす」「地震や台風のと
きどうする」です。

テーマ1 外国人に情報を知らせる

提言 1 はままつし は、がいこくじん がもっと じょうほう し 情報を 知ることができるようにします。

【たと例えばこんなことをします】

- ・ はままつし のお知らせを じち かい、がっこう、がいこくじん がよく行く お店 で みせ くぼ配ります。

提言 2 はままつし は、がいこくじん のために 必要な じょうほう し 情報を いろいろな くに の ことば言葉とやさしい にほんご日本語を使って、知らせます。いろいろな方法で知らせます。

【たと例えばこんなことをします】

- ・ はままつし のホームページやお知らせ、せいかつ生活の じょうほう し 情報を いろいろな くに の ことば言葉になおします。そして、かんじ漢字の よ読み方 かたを書いたり、やさしい にほんご日本語になおします。

テーマ2

はままつしたぶんかきょうせい 浜松市多文化共生センターをもっと良くする

提言 1

はままつしたぶんかきょうせい
浜松市多文化共生センターは、がいこくじん きんじょ ひと なか外国人が近所の人と仲良く暮らせる
ように、じちかい いっしょ てつだ自治会などと一緒に手伝います。

たと【例えばこんなことをします】

- ・ちいききょうせい じぎょう ばしょ「地域共生モデル事業」をいろいろな場所でします。
- ・がいこくじん にほんじん いっしょ外国人と日本人と一緒にスポーツをしたり、ピアノ や ギターピアノやギターをひいたり、うた うた はなし つく歌を歌ったりして、話をするチャンスを作ります。

提言 2

はままつしたぶんかきょうせい
浜松市多文化共生センターは、せいかつ もんだい しごと いえ びょういん ほけん生活の問題（仕事、家、病院、保険
など）をき ばしょ じかん おお聞く場所や時間を多くします。にほんじん がいこくじん あいて こま日本人も外国人も相手が困つ
たときに、たす助けられるようにします。

たと【例えばこんなことをします】

- ・せいかつそうだんいん せいかつ もんだい き ひと生活相談員（生活の問題を聞く人）をもっと増やして、いろいろ ばしょ色々な場所で
はなし話をききます。せいかつそうだんいん いま生活相談員が今よりもっといいアドバイスができる
ようにします。
- ・にほん きょういく ぶんか しゅうかん じぶん す日本の教育や文化、習慣、自分の住んでいるところのルールを自分
くに ことば べんきょう かい ひらの国の言葉で勉強する会を開きます。

テーマ3 にほんご べんきょう 日本語を勉強するシステムをつくる

提言1

いろいろな日本語の教室を開きます。外国人が日本語を使えるようにします。そして近所の人と仲良く暮らせるようにします。

【例えばこんなことをします】

- ・「日本語出前教室」をします（日本語の先生が日本語を勉強したい人のところに行きます）。
- ・日本人と一緒に料理やスポーツをしながら、日本語が勉強できる教室を作ります。
- ・家族で日本語が勉強できるように、子どもと一緒に勉強できる教室を作ります。
- ・16歳以上の若い人や大人が、日本語などを勉強できる場所を作ります。

提言2

日本語教室のことが知りたいと思ったとき、すぐ分かるようにします。日本語を勉強してよかったと感じたり、日本語を勉強したい気持ちになるシステムを作ります。

【例えばこんなことをします】

- ・「浜松の日本語学習の案内」をつくります。「日本語を勉強してよかった！」という話や浜松市の日本語教室の場所やお金などがわかります。
- ・浜松市や浜松国際交流協会のホームページで、日本語教室のことを知らせます。

テーマ4 外国人が自分の力で近所の人と仲良く暮らす

提言 1

多文化共生のために頑張っている人やグループを評価するシステムを作ります。

【例えばこんなことをします】

- ・「地域多文化共生賞」をつくります。浜松で多文化共生のために頑張っている人や自治会に賞をあげます。
- ・賞をもらった人が先生になって、どんなことをしているか皆に教えます。

提言 2

外国人も日本人も相手の文化や考え方を勉強します。分からないことをいつでも聞くことができるシステムを作ります。

【例えばこんなことをします】

- ・日本人も外国人も得意なことがあったら、「文化のスペシャリスト」になってもらいます。そして、その人を皆に紹介します。テーマを決めて、話します。
- ・日本人と外国人が仲良くなるのを助ける人を「地域の応援者」にします。外国人が日本のマナーや文化について聞くことができます。

テーマ5 地震や台風のときどうする

提言1

外国人も地震や台風の時にどうしたらいいかを一緒に考えられるようにします。

【例えばこんなことをします】

- ・自治会がやさしい日本語やいろいろな国の言葉でお知らせを書けるように助けます。通訳の人が自治会に行きます。
- ・外国人のための楽しいセミナーをします。

提言2

地震や台風のとき、リーダーになる人を育てます。情報がきちんとわかるようにします。

【例えばこんなことをします】

- ・地震や台風のときにボランティアしたい人たちが、知り合うシステムを作ります。
- ・メールやインターネットなどで、情報を伝えます。地震や台風になったときのために、練習をします。

おわりに

わたし だい かい はまつ し がいこくじん し みんきょうせいしんぎかい ねんかん
私 たち 第1回 浜松市 外国人 市民 共 生 審 議 会 の メンバー は、 2 年 間、 たくさん
の こと を 話 し 合 い ま し た。

がいこくじん こ きょういく はまつ し がいこくじん し みんかい ぎ なんかい はな
「外国人の 子どもの 教育」 は 「浜松市 外国人 市民 会 議」 で これ まで 何 回 も 話
し 合 い ま し た から、 と っ て も 大 切 な こと で す が、 今 回 は テー マ に し ま せ ん で し た。

がいこくじん し みんきょうせいしん ぎ かい なんかい こ きょういく はなし
でも、 外国人 市民 共 生 審 議 会 で、 何 回 も メンバー から 子 ども の 教 育 の 話 が
で 出 ま し た。 わたし がいこくじん し みんきょうせいしん ぎ かい がいこくじん こ
私 たち 外国人 市民 共 生 審 議 会 の メンバー は、 外国人 の 子 ども たち
が あんしん べんきょう つづ かんが おも
が 安 心 し て 勉 強 を 続 け る こ と が で き る よ う に、 み な さ ん に 考 え て ほ し い と 思
っ て い ま す。

ねんど はまつしがいこくじんしみんきょうせいしんぎかいいいんめいぼ
 2008・2009年度 浜松市外国人市民共生審議会委員名簿

	氏名	備考	
1	しらみず ロナルド かつじ 勝治	こうぼ 公募 (ブラジル)	いいん 委員
2	スズキ ヨランダ ユキコ	こうぼ 公募 (ブラジル)	いいん 委員
3	なかおか ヘナト	こうぼ 公募 (ブラジル)	いいん 委員
4	おう しゅん 王 敏	こうぼ 公募 (中国)	いいん 委員
5	なかむら グレイス	こうぼ 公募 (フィリピン)	いいん 委員
6	やましる ロベルト	こうぼ 公募 (ペルー)	いいん 委員
7	ゆん そんぶん 尹 先粉	こうぼ 公募 (韓国)	ふくいんちよう 副委員長
8	サリ サンティ	こうぼ 公募 (インドネシア)	いいん 委員
9	あしみね えつこ 安次嶺 悦子	ちしきけいけんしゃ 知識経験者	いいん 委員
10	よねせ はるこ 米勢 治子	がくしきけいけんしゃ 学識経験者	いいんちよう 委員長